

レイクマイニット水力発電所（フィリピン共和国）が営業運転を開始しました ～現地にて記念式典を開催～

電源開発株式会社（以下「Jパワー」、本社：東京都中央区、代表取締役社長 社長執行役員：菅野 等）は、フィリピン共和国（以下「同国」）の発電事業会社である Markham Resources Corporation^{※1}（以下「MRC 社」）とともに、事業会社 Agusan Power Corporation（以下「APC 社」）を通じて Lake Mainit（レイクマイニット）水力発電所（24,900kW、以下「同発電所」）を同国ミンダナオ島内に建設してきました。

今般、同発電所が 2023 年 3 月に営業運転を開始し、7 月 12 日に記念式典を開催しました。

※1：同国で水産業を主とする Frabelle 社と TSP Marine 社が共同で運営する発電事業会社



レイクマイニット水力発電所

記念式典には同国のマルコス大統領をはじめ多数の来賓を迎え、大統領からは営業運転開始に対する祝辞をいただきました。

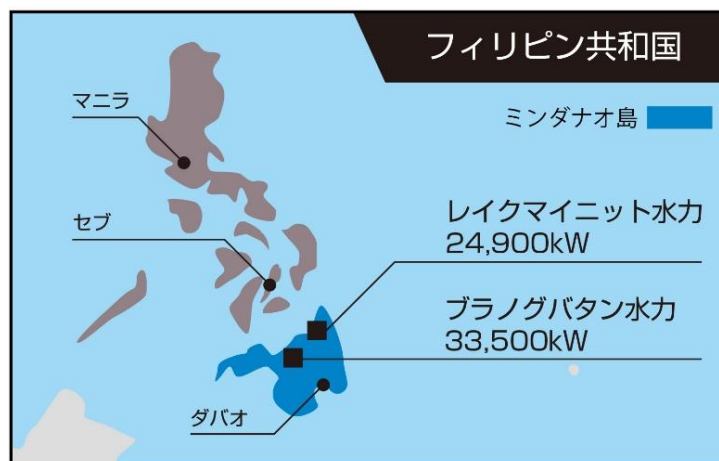


竣工記念式典の様子

同発電所は、北アグサン州電化協同組合（ANECO 社）への信頼性の高い電力供給に努め、家庭・商業部門ともに増加を続ける同地域のエネルギー需要をサポートしてまいります。

Jパワーは、同国ミンダナオ島水力発電事業に2022年12月※2から参画しています。MRC社とは同発電所のほかに、事業会社 Bukidnon Hydro Energy Corporation（以下「BHEC社」）を通じて Bulanog Batang（ブラノグバタン）水力発電所（33,500kW、2029年営業運転開始予定）も開発を進めています。

※2：2022年12月19日公表「[フィリピン共和国ミンダナオ島水力発電事業に参画します](#)」



各発電所位置図



ミンダナオ島には未開発の水力地点が多く残されていますが、電源の過半は依然として化石燃料由来です。Jパワーは、これらの開発を通じてミンダナオ島の電力供給をカーボンフリーへとシフトすることに貢献していきます。

Jパワーグループは、2021年2月に公表した [J-POWER “BLUE MISSION 2050”](#) に掲げるカーボンニュートラルの実現に向けて、今後も国内外における再エネ事業のさらなる拡大に取り組むとともに、電力の安定供給と気候変動対応の両立に挑戦していきます。

【添付資料】

別紙1 レイクマイニット水力発電所・ブラノグバタン水力発電所について

別紙2 Jパワーの再生可能エネルギーIPPプロジェクト一覧（海外）

以 上